

口永良部島

概 況

火山性地震の発生回数は 80 回と多く (2 月は 160 回、昨年の月平均は 40 回) 火山活動はやや活発な状態で推移しました。

地震・微動活動の状況

A 型地震の回数は 40 回 (2 月 : 102 回) B 型地震は 40 回 (2 月 : 58 回) と引き続き多く発生しました (図 1 ~ 5)。また、振幅の小さな火山性微動を 5 回観測しました (2 月 : 3 回)。

上空からの観測

鹿児島県の協力により 3 月 19 日に行なわれた防災ヘリによる上空からの観測では、昨年 10 月の調査観測時にはなかった白色で高さ 2 ~ 3m の噴気が、火口底付近で確認されました (図 6)。

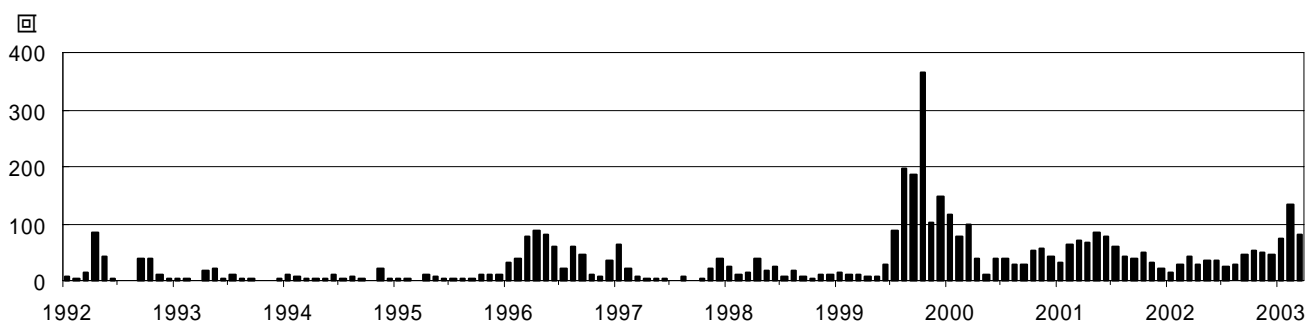


図 1 火山性地震の月別地震回数 (1992 年 1 月 ~ 2003 年 3 月)

(1999 年 9 月 12 日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用)

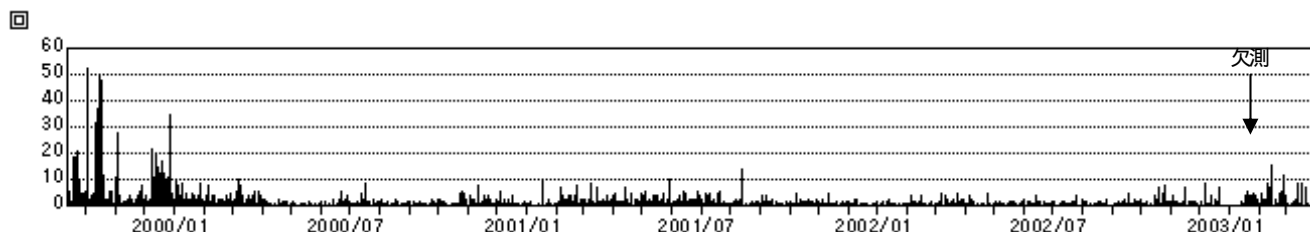


図 2 A 型地震の日別地震回数 (1999 年 9 月 12 日 ~ 2003 年 3 月 31 日)

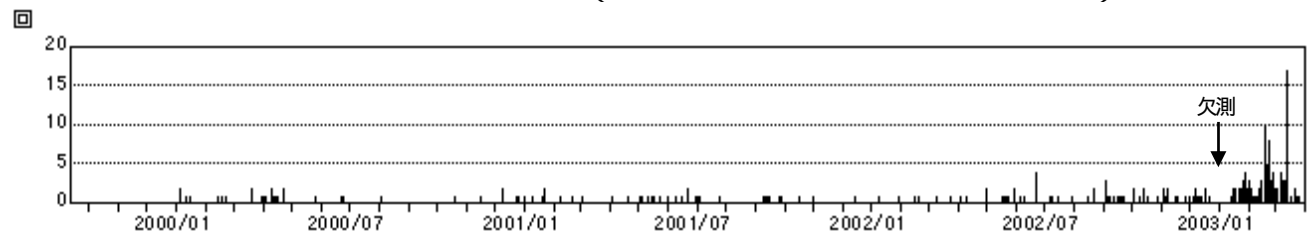


図 3 B 型地震の日別地震回数 (1999 年 9 月 12 日 ~ 2003 年 3 月 31 日)

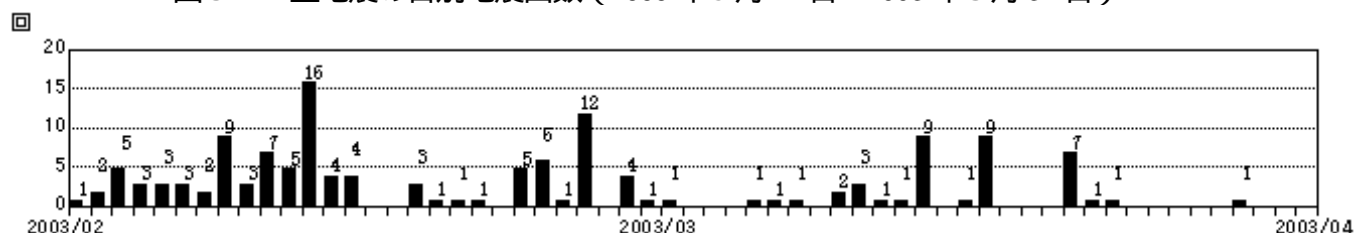


図 4 A 型地震の日別地震回数 (2003 年 2 月 1 日 ~ 2003 年 3 月 31 日)

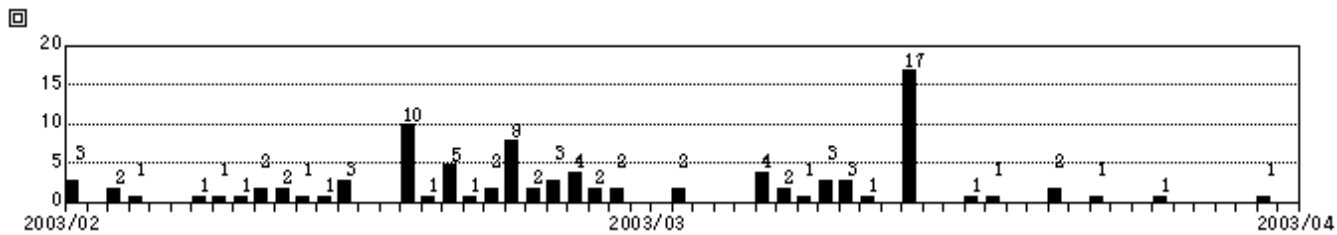


図5 B型地震の日別地震回数 (2003年2月1日~2003年3月31日)



図6 機上観測 (2003年3月19日) による新岳火口写真

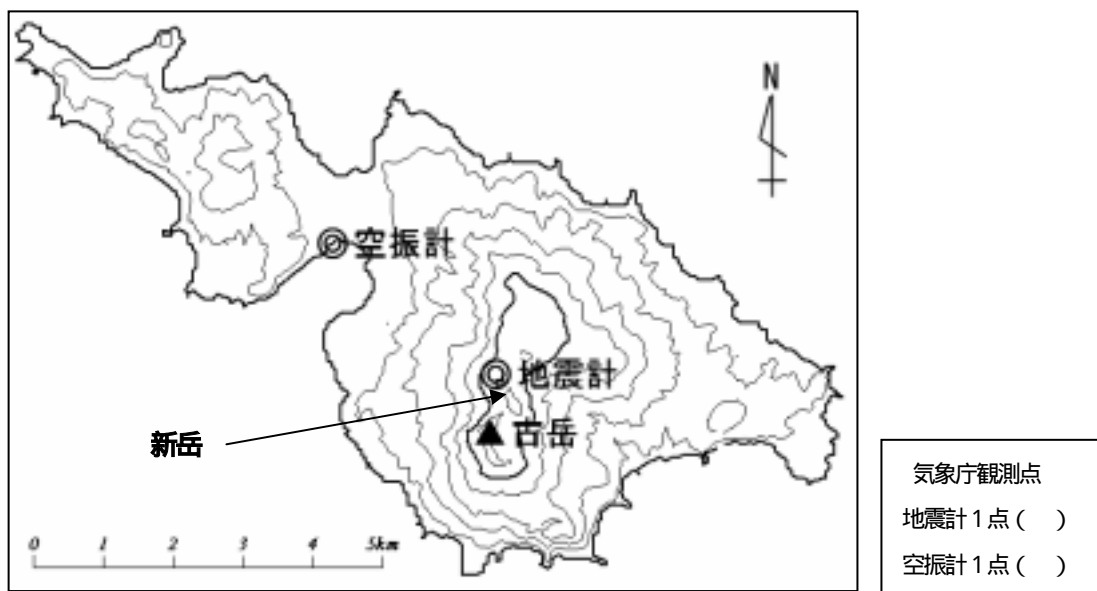


図7 観測点配置図